

県岐阜商、甲子園へ

全国高校野球岐阜大会 決勝

▷決勝(長良川球場)

帝京大可児	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	6
県岐阜商	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	1×7



2年連続30度目の甲子園出場を決めた県岐阜商

帝京大可児破り2年連続30度目

第104回全国高校野球選手権岐阜大会最終日は28日、岐阜市の長良川球場で決勝を行い、連覇を狙う県岐阜商が初優勝を目指す帝京大可児を7―6で下し、2年連続30度目の甲子園出場を決めた。

県岐阜商は、打線が好調で、準決勝まで3試合でワールド勝ちを収めた。3回戦は東濃実にて終盤の打ち合いを制して競り勝ち、準々決勝の美濃加茂には逆転で勝ち上がった。準決勝は、今春東海準優勝の岐阜第一に七回コールド勝ち。決勝は延長十一回サヨナラ勝ちし、参加68校67チームの頂点に立った。

優勝した県岐阜商は、8月6日開幕の全国選手権に県代表として出場する。